

STAGE+を楽しむ(144)(HP 収載)
—ムターのチャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲—

1. 始めに

前報(143)に引き続き、STAGE+のムターのチャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、ムターのチャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲の演奏を選びました。

ムーティとムターがチャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲で共演
ザルツブルク音楽祭 (2015年)

収録日: 15年8月16日

毎回スーパースターが集うザルツブルク音楽祭。本映像に収録された公演も、アンネ=ゾフィー・ムターと、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団を指揮するマエストロ、リッカルド・ムーティが指揮台に立つなど話題となりました。ムターはお得意のチャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲を披露していますが、ちょうどこのときはカラヤンと共演し全世界を魅了してからちょうど30年のタイミングとなっています。カラヤンに捧げたバッハの「サラバンド」も心を打ちます。ムーティによるブラームスの交響曲第2番も“名演”と呼ぶにふさわしい内容です。

ソリスト:

アンネ=ゾフィー・ムター (ヴァイオリン)

演奏:

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

指揮:

リッカルド・ムーティ

曲目:

ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー ヴァイオリン協奏曲ニ長調 op. 35

アンネ=ゾフィー・ムター(ヴァイオリン)

ヨハン・セバスティアン・バッハ

無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番ニ短調 BWV 1004 より

第3楽章 : Sarabande

アンネ=ゾフィー・ムター(ヴァイオリン)

ヨハネス・ブラームス 交響曲第2番ニ長調 op.73



3. 試聴の経過

前回に引き続き、スピーカーアキュライザーの位置を変更し、スピーカーアキュライザーからのバイワイアリングケーブルにケーブルチューナーを装着し、ルーター→スイッチングハブ→PCの2本のLANケーブルにLANアキュライザーを使用しています。さらに、スイッチングハブに光城精工の仮想アース Crstal EpL を接続し、ルーターに自作の仮想アースを接続しています。

また、CDクリーナーの効果(9)で報告しましたようにPCのストリーミング再生において、PCの液晶画面とLAN iSilencer とルーター に対するCDクリーナーの処理を行っています。今回、スイッチングハブとルーターのLANポートにフェルトダンプLAN端子を装着しています。

チャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲は、ムターの細かいヴィブラートを効かせたアグレッシブな演奏で、カデンツアも華麗に演奏します。

バッハの Sarabande は、うってかわってしみじみと聴かせます。

ブラームスの交響曲第2番は、壮大な交響曲第1番に比べ、抒情性に溢れた表情で展開し、終章では軽快な動きから速いテンポで盛り上がっていきます。

チャイコフスキーのヴァイオリン、バッハの Sarabande、ブラームスの交響曲第2番とそれぞれ表情の異なる曲を、これまでに実施してきた対策に加え、LANポートにフェルトダンプ端子を装着したことで、描き分けています。



4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、LAN ポートにフェルトダンプ端子を装着したことで、ムターのヴァイオリンの音色と演奏技量が十分に表現してくれています。

以上